

# 友和

NO.587

発行日 令和 8 年 3 月 1 日

発行 社会福祉法人 友和の里

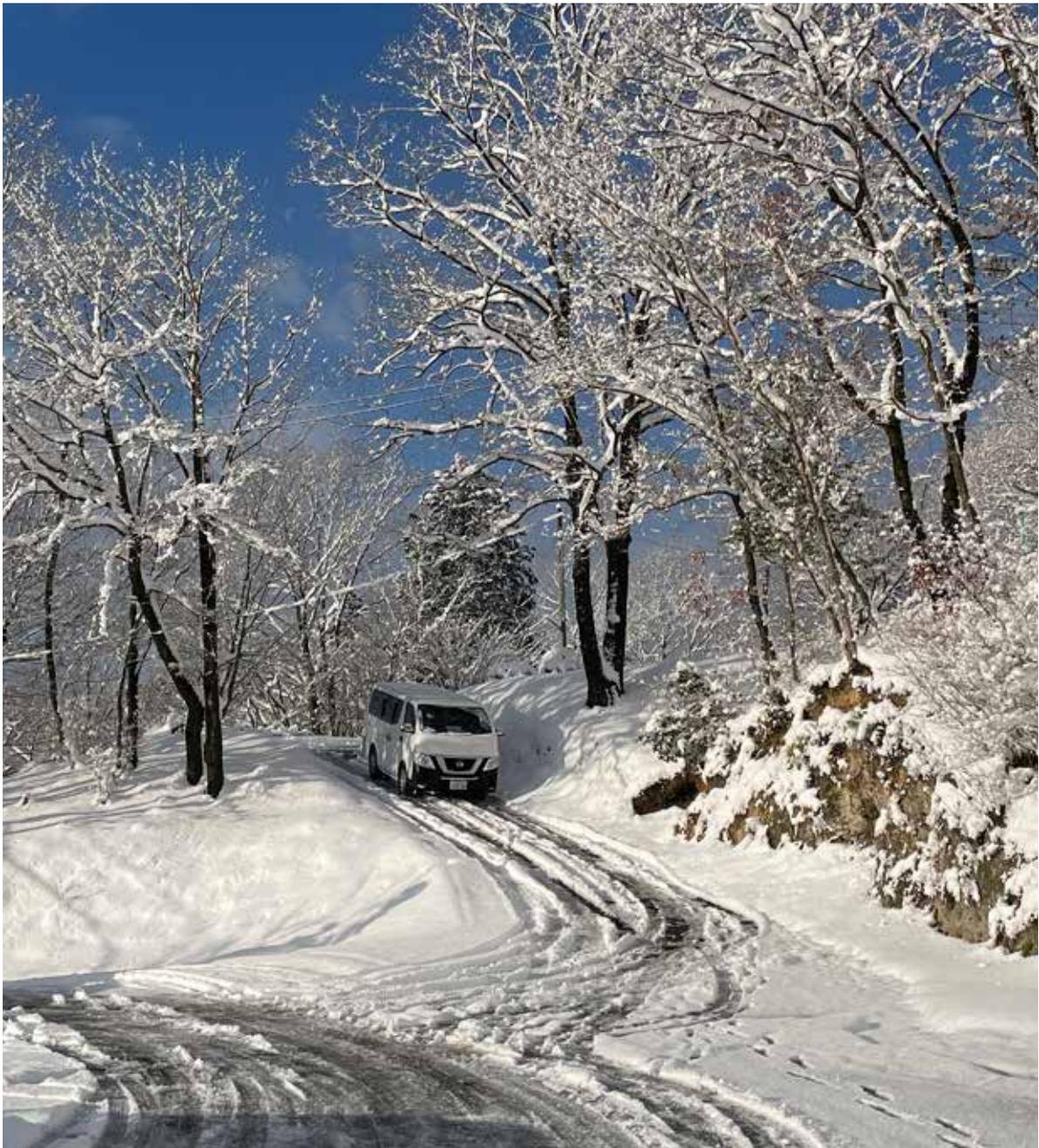
〒 738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuwanosato.com/>

発行者 常務理事 中村 真和



雪の日の朝、送迎に向けて出発するハイエース。早めに出発して、ゆっくり慎重に走行して行きました。運転手の職員にたずねると、「ドキドキワクワクしながら運転しています」と話してくれました。

## 特集 ハピネスゆうわ

今月はまもなく開設となる「ハピネスゆうわ」についてご紹介できることを集めてみました。障がいのある人の暮らしがこれからもっと豊かになっていくことを願いながら。

どんなホームになるの？

- ☑ 2026年4月1日オープン！
- ☑ 新築グループホーム（3つ目のグループホーム）
- ☑ 介護サービス包括型
- ☑ 8名（成人男性）が入居できる
- ☑ 知的障がいのある人で共同生活ができる方が対象
- ☑ 世話人さんなどスタッフが常駐
- ☑ 日常生活スキルの習得支援あり
- ☑ 医療連携サポートあり
- ☑ ショートステイの併設なし
- ☑ 個室
- ☑ バリアフリー設計
- ☑ 夜間支援体制あり（宿直スタッフ）
- ☑ 食事提供あり 栄養士がたてた献立を職員による自前調理で提供します
- ☑ 家賃や食費、光熱水費など費用がかかる

建築前



建築中（2月）

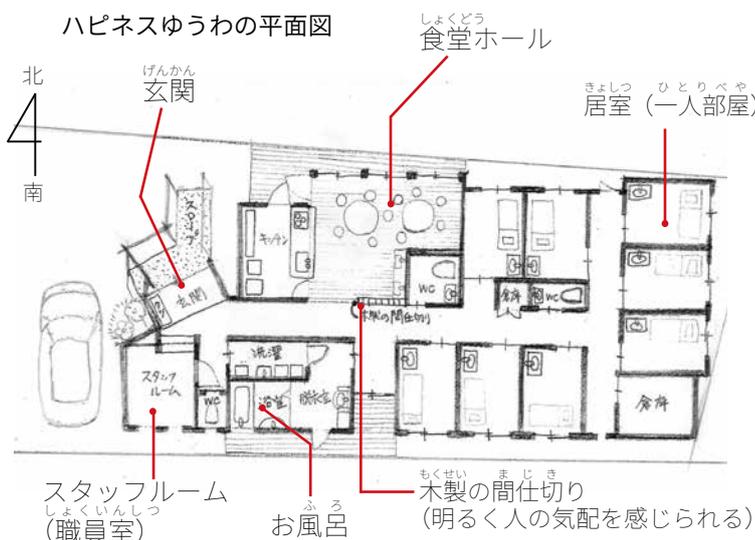


内部工事（1月）



場所はフレンドホームから徒歩1～2分の距離。建物は平屋のつくりで長方形のハウスが連結したようなスタイル。お隣に友和駐在所があり、県道からよく見える日当たりのよい町中に建設中。

ハピネスゆうわの平面図



建設中レポート  
2月末現在、内装工事が進んでいます。食堂ホールは北向きですが、採光がしっかり入って明るい雰囲気です。8室全部個室で、中には天窓のある部屋がありました。プライバシーを大切に作りになっています。玄関はスロープがあり、外壁はグレーでモダンな印象です。

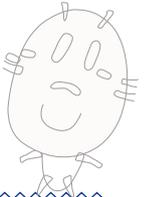
### 利用者の声

- ・新聞みるとこどんなかね？
- ・カラオケするとこあるかね？
- ・ジュースのむところはないかの？
- ・ご飯たのしみ
- ・新しい利用者さんとの出会い楽しみにしています

### スタッフの一言

仲良く楽しく過ごせるように、サポートしてきたいと思います。

春に向かって、「共に」始まるハピネス



寒さの中にも、日差しのやわらかさや草木の芽吹きを感じる季節となりました。春を前にしたこの時期は、新しい暮らしを思い描く時期かと思えます。

グループホーム3棟目となる「ハピネスゆうわ」は、3月10日に建物が完成し、月末にはお披露目を予定しています。そして4月1日、いよいよ新しい暮らしが始まります。これで3棟合わせて25人の方がここで生活することになります。また、ショートステイとして3部屋を用意しており、必要に応じてお泊まり利用も可能です。支える職員は交代で24時間<sup>365</sup>日、皆さんの暮らしを守っていきます。

友和の里の理念は、「友和の里にどうすべての人々とともにまなび ともに成長し ともにしあわせになることをめざします」です。

ここで使われている「ともに」は「共に」という思いを込めた言葉だと思われまます。立場や役割が違っていても、同じ場に集い、同じ時間を重ね、支え合いながら歩んでいくという意味です。利用者、ご家族、職員、役員、地域の皆さんと関わり合いながら育てていくしあわせ。それが友和の里の目指す姿です。

「ハピネス」という名前にはその願いを込めました。特別な出来事が続くことではなく、安心して目覚め、穏やかに一日を終えられること。その積み重ねが、その人らしいしあわせにつながると考えています。

春に向かい、新しい一歩が始まります。皆さまとともに、ハピネスを大切に育てていきたいと思えます。引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

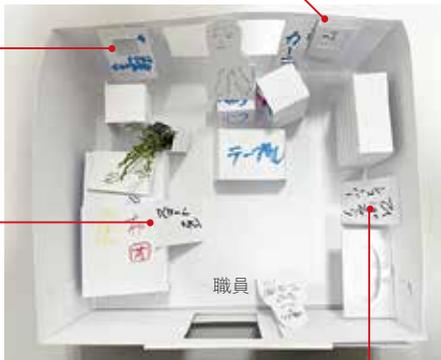
(常務理事 中村 真和)

どんな暮らしを大切にしていきたいか

毎日の中で、小さなことでも、自分でえらんで決めることができる暮らし。「いつてらっしゃい」と見送ってもらい、帰ってきたときに「おかえりなさい」と言ってもらえる場所があること。一人でいたいときは、自分の場所できつくり休めること。自分の好きな事を楽しみながら、一人の時間も、みんなと一緒に時間も安心してすごせること。そんな安心して自分らしく暮らせる毎日を大切にしていきたいです。(部長 川久保貴子)

ちやくちやくと進む準備(移行支援)

入所部の堀江<sup>ほりえ</sup>さん、新しい暮らしに向けて、紙でつくった模型を使ってお部屋のレイアウトをしてもらいました。「何がいきますか?」「他にいいものはないですか?」とやりとりしながら作業をしました。意外だったのがテレビやラジオは必要なく静かに暮らしたいこと。「堀江は静かにくらしませう」と言われていました。それから実家への帰宅が楽しみにできるカレンダーの存在が大きくて、時計は10時を指していることなどもわかりました。最中、堀江さんはとっても表情がよくて、新しい生活を楽しみにしていることがよくわかりました。マックスバリューへ買物にいきたいこと。コーヒーともみじまんじゅうとチョコレートを買うことも教えてくれました。後半、一緒にハピネスゆうわに移行されるメンバーの名前も出てきて、知っている人が一緒に移る安心感もあるのかなと推測しました。



ひげそりシェーバー

# ゆわたのび



字：塩田兆優

入職27年になるベテラン職員井場孝行さんに話をききました。かつて、ドカ雪が今よりももっと降っていた頃、冬場屋内に閉じこもりがちの利用者さんと雪でふれあう活動をしていた。雪、たるまはもちろん、かまくらや雪を集めて作った雪の滑り台も楽しかったそう。高い所が苦手な人が多かったが面白かった。素手で触るのが苦手な人や防寒対策用として軍手の上にビニール手袋を着用するなど工夫をこらしていた。温暖化で大雪も早めに溶けてしまうことが多いこの頃。雪にふれたり、親しむことができるのは、友和の里の立地を生かした活動のひとつですね。

(地域交流支援員 ヒューガノリコ)

2月9日、友和の里は前日からの雪に見舞われ、約30センチほどの積雪となりました。雪をそのままにしておく、送迎車が坂道を上がれなくなったり、スリッパしたりするおそれがあります。また、利用者さんが転んでしまう心配もあるため、参加できる職員で力を合わせ、朝早くから雪かきを行いました。車の通り道や中庭の利用者さんの移動経路を中心に、スコップ(スノーブッシュャー)を使って雪をよけ、通りやすい道をつくっていきました。限られた時間での作業でしたが、なんとか利用者さんが来所されるまでに整えることができました。

私は普段あまり雪の降らない地域に住んでいるため、雪かきは今回が初めてでした。雪はふわふわしている印象があり、そこまで大変ではないかもしれないと思っていましたが、実際にスコップを持ってみると、想像以上に重く、動かすのも一苦労でした。少し作業をしただけで息が上がり、雪かきが体力を使う仕事であることを実感しました。

当日は佐伯地域で氷点下10℃を下回る厳しい寒さでしたが、作業をしていると寒さを感じないほど体が温まりました。道具の使い方や雪の性質、段取りの大切さ、そして何より利用者さんの安全を第一に考えることの大切さを学ぶことができ、心に残る一日となりました。(事務員 中村幸男)



## □広島県立廿日市特別支援学校阿品台分校 就業体験

今年度は広島県立廿日市特別支援学校阿品台分校高等部2年生・3年生あわせて6名の生徒さんが就業体験に来てくれました。はじめは緊張した様子も見られましたが、作業を重ねるうちに笑顔も増え、作業に一生懸命取り組む姿がとても印象的でした。今回の就業体験を通じて、今後の進路や利用につながるきっかけとなればと考えています。(通所部部长 乙原 亮)

## □令和7年度入所部短期入所について

今年度は、短期入所をご利用いただく方が昨年度よりも増え、多くの利用者様にご利用いただきました。通所での個別支援面談の際にも「短期入所を利用したい」というご希望を多くいただき、ご要望を伺いながら利用調整を行ってまいりました。ご家庭では「短期入所に行きたくない様子がある」とお聞きしていた方でも、実際に来所されると落ち着いて過ごされ、帰り際には「また来るからな、ありがとな」と職員に声をかけてくださる場面もあります。初めは緊張されている方も、時間が経つにつれて自分のペースで過ごせるようになり、表情も柔らかくなっていく姿が見られます。職員同士でも、利用者様が心地よく過ごせるよう事前の情報共有を行い、安心してご利用いただける環境づくりに努めています。来年度は、より利用しやすく、より快適に過ごしていただける「友和の里リゾート」を目指し、現在準備を進めております。どうぞご期待ください。短期入所にご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

(入所部部长 浜先ひろこ)

### 通所部 | 日中活動班より



そうさくはん

#### 創作班

大黒さんはおでかけが大好きで「買い物行ったんだ〜!」「映画に行くんだ〜!」と教えてくれます。この度のウエス納品に同行するか確認すると「うん!行く!うふふふ」と若干モジモジしながら返事をしてくれました。いざ納品に行くと車内では少し緊張した面持ちで座っておられ会話も少なかったのです。現地に到着すると商品を丁寧に運び納品書を渡され、しっかりと任務を全うされました。帰りの道中では緊張もほぐれ「また行くんだ!」と楽しまれている様子でした。納品を楽しみにされることは職員にとってもやりがいとなります。また次の納品に向けて頑張りましょう!!

(主任生活支援員 山田憲志)



#### かいとお はん 貝通し班

皆さん、貝通し作業を時間いっぱい取り組まれています。貝とゴムを交互に通し終わったら、基本的に職員が針金の端をペンチで縛って貝が外れないようにしているのですが、皆さん色んな声掛けで通し終わったことを教えてくださいます。大きな声で「できた!」「できたよ!」、小さな声で「できました」、文字にするのが難しい発音で教えてくださいます方や無言で職員の方を見て待つ方もいらっしゃいます。毎日皆さんそれぞれのペースで安定した作業をこなしておられます。

(生活支援員 冠 茜)



りょういくはん

#### 療育班

ゴム入れ作業や竹踏み運動に取り組みました。ゴム入れでは指先を使いながら集中力や達成感を育む活動となっています。竹踏みでは足裏への刺激を通してバランス感覚や姿勢の安定に繋がるように取り組んでいます。一人ひとりのペースを大切にしながら活動に取り組んでいます。

(生活支援員 濱田吉弘)

とうげいはん

#### 陶芸班

今月はゴム入れをメインに作業を行いました。皆さん時間いっぱい集中して取り組まれています。出来上がったものは貝通し作業で使用されます。各班協力しながら作業を進めています。

(生活支援員 朝川 泰貴)

# トピックス

## まちの駅 ADOA 大野にて フレンドホーム親睦会

2/11 にフレンドホームの入居者さん・保護者さん・職員で親睦会を行いました。今回初めて、まちの駅 ADOA 大野の交流スペースをお借りし、お隣にあるフードコートに食事をお願いしての開催になりました。いつもと違った場所に出かけるとあって皆さんのテンションも上がり終始笑顔。保護者の方とも話に花が咲きとても楽しい時間になりました。お隣にあるマーケットでのショッピングを楽しまれる方もいらっしゃいました。より一層フレンドホームゆうわの絆が深まったのではないのでしょうか。  
(主任生活支援員 吉村 愛)



## 見て楽しめる ホワイトボードできました！

2つのホームの廊下にはホワイトボードが設置されています。昨年の6月に「社会福祉法人たんぼぼ」のグループホームを見学させていただいた時に、各所に入居者の皆さんへの情報伝達として写真やスケジュール表を掲示し、分かり易く工夫されていたので、「うちでもやってみよう」と始めたものです。ボードには当日の職員配置の顔写真と、皆さんがより知りたい内容をそれぞれのホームで少し内容を変え掲示するようにしています。グループホームゆうわの方は、移動スーパーの予定や、週間の献立、職員の勤務表など。フレンドホームゆうわでは友和たよりや行事の写真など、見て楽しめる物を中心に掲示しています。掲示物の内容が変わると、皆さんよく立ち止まって、じっくり見ておられ、そこから職員との会話のきっかけにもなっています。



(部長 川久保 貴子)

## 入所部 アート活動について

令和6年4月よりアート活動を始めて、もう少しで2年がたちます。今では、「私のアートはいつ？」と聞いてこられる利用者さんもいらっしゃるほど活動も定着してきております。最初は単色しか使われなかった利用者さんもいろんな色を使って表現されたり、エレベーターしか描いていなかった利用者さんも最近では季節の野菜など他の題材も積極的に描かれたりしております。また、普段の活動では見られない表情をされながら、集中して取り組んでいらっしゃる利用者さんもいます。来年度も引き続き、利用者さんそれぞれの特性を生かしながら、アート活動の機会を提供していきたいと思っております。

今年度から始まったアートレンタル事業1月の終わりから3月までは山田弘一やまだこういちさんの絵をダイハツ広島販売大竹店に展示しております。色鮮やかな作品に仕上がっております。(主任 甲斐 真由美)  
※裏面 P 8 に画像あり

## 入所部レクリエーション

### ♡バレンタイン♡ボーリング♡

2月はボーリングを行いました。午前中は個人戦で、見事優勝したのは唯一ストライクを出した、和泉広司いずみひろしさんでした！皆さん笑顔で、楽しそうにゲームに参加されておりました。午後からは活動グループに分かれてチーム対抗戦！を行い。優勝したグループは、ステップグループでした。その後は、皆さんお楽しみのお菓子とジュース♡でゆっくり過ごされました。

(生活支援員 堂面 なみ)



ゆめ森・はな森・ぬく森 news  
イチジクのお手入れ

イチジクいじくの木の剪定をしました。切り口に惣道そうどうさんと泉いずみさんに薬を塗ってもらいました。2人はとても丁寧に『ぬりぬり』と言いながらお手伝いをして下さりこれで来年も実が出来るとうれしいです。品種にもよりますが基本的には、その年に伸びた枝に実が付く為、強剪定と言ってしっかり剪定をすると来年の実付が良くなります。実はスーパーには大体2種類のイチジクしか並びませんが、品種はとて多く、味や大きさも様々な種類があります。今友和に植えているのは、ホワイトゼノアと言って、甘味が強く、赤くならない品種です。



(生活支援員 高橋 正雄)

その人らしさに寄り添いながら  
アート活動が始まります！

2月から、通所部でアート活動が始まりました。火曜日のクラブの時間を使って少人数ずつが集まり、絵の具や色鉛筆、その他画材で自由に表現する活動です。このアート活動を通して、皆さんそれぞれが持っているその人らしさに寄り添い、穏やかな気持ちで自分を表現できる場の提供を目指しています。作品を作ることが目的ではなく、利用者さんにとって、日常の中にちょっとした楽しさを見つけることができればと思います。

(生活支援員 冠 茜)



字：塩田兆優さんと峠本滋基さん

ニュースポーツを取り入れた今年度  
開所日をふりかえって

通所部の開所日は今年ニュースポーツを積極的にとり入れました。誰でも気軽に楽しめるのがニュースポーツの特徴です。楽しみながらカラダを動かす体験をみんなに提供でき、達成感を味わえた人もいたと思います。ホールの中に入れない人には道具をその人の所へ持って行ってプレーしてもらいました。そしてプレー中には応援や、歓声などたくさんの声や会話もありました。難しいルールはなく、目標物にむかってやってみる、そんな目で見る分かりやすさも良かった点かなと思っています。2月の開所日はひなかざりを作りました。壁に飾って楽しめるように工夫をしました。

(生活支援員 井場 孝行)



ルートを変更しての  
消防訓練

2/17に2つのホーム合同で消防訓練を実施しました。フレンドホームの食堂からの出火を想定し、今回は実際の状況に近づけて、出火場所の食堂から離れた所にある居室の大きな窓から外に出て駐車場まで避難しました。今回初めてフレンドホームから避難する入居者もいましたし、他のの方々にとっても慣れない避難経路でしたが、皆さん直ぐに対応して全員無事に駐車場まで避難を完了することが出来ました。今後も安全に対応できるよう定期的に訓練を行なっていきます。

(生活支援員 堂面 大地)



# 3

## 友和の里行事予定

- 3/6 金 アート活動 (入所)
- 3/10 火 工賃支払日 (通所 / 入所)  
お楽しみ会 (入所)
- 3/11 水 慰労会 (入所)
- 3/13 金 夕食会 (GHFH)  
体重測定 (通所)
- 3/18 水 体重測定 (入所)
- 3/20 金 食事会 (GHFH)
- 3/21 土 土曜日開所日 (通所・入所)
- 3/24 火 夕食会 (入所)
- 3/25 水 避難訓練 (入所)
- 3/29 日 訪問美容 (GHFH)
- 3/30 月 ハピネスゆうわ落成式 ※予定
- 3/31 火 そうじの日 (入所)

水曜日移動スケジュール

1	2	3	4	5	6	7
		ぎょうじ しよく			アート	
8	9	10	11	12	13	14
友和市民センターまつり		おたのしみ かい	いろいろかい		ゆうしよく かい	
		ごうちん			たいじゆう そくてい	
15	16	17	18	19	20	21
			たいじゆう そくてい		アート	かいしよび
					しよくじ かい	かいしよび
22	23	24	25	26	27	28
		ゆうしよく かい				
			ひなん くんれん			
29	30	31	4/1			
ほうもん びよう		おおそうじ				
	らくせいしき		にゆうしよしき			

- にゆうしよ (入所)
- つうしよ (通所)
- GHFH グループホーム
- アーチェリー

### 新しい職員さん



なかたのりこ  
中田典子さん (入所部生活介助員)

生活介助員は、主に入所部内の清掃や洗濯などを中心に業務を行っています。その一員として新たに加わった中田さんは、「家にずっといて働かないのは退屈でした。体力や体調に合わせて、無理のない範囲で働きたいと思っています」と話してくれました。利用者さんとの関わり方や仕事の段取り、方法については、同じ生活介助員の上田さんから丁寧に教えてもらい、安心して業務に取り組んでいるそうです。「家でも掃除が上手になった気がします」と、にこやかに教えてくれました。

### こんげつのおまけ



やまだこういち  
山田弘一さん、絵具の入った筆の感触を確認しながら描いた絵ダイハツ大竹店にて展示中！



レイアウトをした居室の模型をもって「グループホーム行こうねえ」と話をする堀江さん。



友和たよりを手にとって見ているお二人。自分の写った写真をさがしているのかな？